

いました。遠足の当日も子供たちの見守り役として2名の方が参加してくださいました。

警察署

校外での学習となるため、子供たちの安全を確保することも大きな課題でしたが、警察官の方も見守り役として参加してくださいました。

【オリエンテーション】

阪神淡路大震災や東日本大震災、西日本豪雨災害など、近年国内で発生した大規模災害の被害の状況や職員自身が被災した経験、消防職員としての体験談をパワーポイントを用いて説明することで話し言葉に加えて視覚にも訴えることができ鮮明な印象を与えることができました。

「昨年の大阪北部地震が起きたとき、何をしていた？」との問いに「学校に来る途中だった」、「一人でいる時でも怖かった」などと話をしてくれた生徒もいました。大阪北部地震も怖かったけれど、今後、大阪ではさらに大きな地震が起きる可能性があるということも伝え、その時にどのような身を守るのか、どこに避難するか、避難するときはどうすれば良いかを分かりやすく説明しました。

また、区役所から提供していただいたアルファ化米『田舎(飯)アレルギー品目対応50食用』を、子供たちが見ている前で実際に調理しました。

お湯を注いで「これで完成！」と言うと、子供たちから驚きの声と拍手が自然と沸き上がりました。



【体験学習の流れ】

次の表により実施しました。

実際はこのタイムスケジュールより時間がかかりましたが、校長先生のご厚意で余裕をもった時間配分で進めることができました。

体験学習では、『今の自分達に出来ること』をテーマに、「①水バケツリレー」「②搬送法」を意識し、「③防災グッズ作り」の3つのコーナーを用意しました。

防災遠足 実施内容

	9:45	9:55	10:05	10:25	10:25	10:35	10:45	10:55	11:05	11:15	11:25	11:35
1班	オリエンテーション	体験学習①	体験学習②	体験学習③	中之島探検				サマリー			
2班		体験学習③	中之島探検				体験学習①	体験学習②				
3班		体験学習②	体験学習①	中之島探検				体験学習③				

※4年生1クラスの36名を12人1組とし、3班編成とする。各グループに教職員1名と消防職員1名が付く。

①水バケツリレー

「水バケツリレー」では、職員が屋外で水を使ったバケツリレーを展示した後、体育館にて水に見立てた土袋を桶に入れ、標的を狙いました。ここでは、2組に分かれ、標的を倒す速さを競いました。初めはなかなか上手いきませんが、徐々にコツを掴んだようでした。